第６３回　会報
2021年6月5日発行

約束

名張毒ぶどう酒事件 死刑囚の生涯

齊藤潤一監督作品

２０１２年／日本／１２０分／カラー／ブルーレイ上映

（C）東海テレビ放送

2021年6月5日（土）

［上映時間］　①１１：３０　②１４：２０

［講　　演］　講　師：阿武野勝彦プロデューサー
時　間：１３：０５ ～ １４：０５

［会　　場］　横浜市旭公会堂

『 約束　名張毒ぶどう酒事件 死刑囚の生涯 』

【物 語】

独房から無実を訴え続けている死刑囚がいる。奥西勝、86歳。昭和36年、三重県名張市の小さな村の懇親会で、ぶどう酒を飲んだ女性5人が死亡した。逮捕された奥西は「警察に自白を強制された」と訴え、無実を主張。1 審は無罪だったものの、2 審は逆転死刑判決。そして昭和47年、最高裁で死刑が確定した。奥西は、死刑執行の恐怖と闘いながら、いまも再審を求め続けている。奥西の無実を信じているのが、母、タツノ。事件で村を追われ、見知らぬ町で独り暮らしを始めた。内職をして電車賃を稼ぎ、月に1度、名古屋拘置所にいる息子に会いに行く。タツノは奥西に969通の手紙を送った。「お金のあるあいだ、湯たんぽを貸してもらい、牛乳も飲みなさい」「やっていないのは、おっかあが一番知っている」「長い間の苦労は毎日、涙いっぱいですよ」再審を待ち続ける母。奥西はタツノと約束をする。“無実を晴らして、必ず帰る”しかし、その約束は果たされることなく、母は昭和63年、84歳で亡くなった。

（C）東海テレビ放送

【出 演】

奥西　勝 ・・・・・・・・・ 仲代達矢
奥西　タツノ ・・・・・・ 樹木希林
若き日の奥西勝 ・・・ 山本太郎
ナレーション ・・・・ 寺島しのぶ

【スタッフ】

監督・脚本 ・・・・・・・・・ 齊藤潤一
プロデューサー ・・・ 阿武野勝彦
製 作 ・・・・・・ 広中幹男/喜多功
音 楽 ・・・・・・・・・・・・・ 本多俊之
音楽プロデューサー
・・・ 岡田こずえ
撮 影 ・・・・・・ 坂井洋紀
照 明 ・・・・・・ 角川雅彦
録 音 ・・・・・・ 遠藤　淳
美 術 ・・・・・・ 高宮祐一
編 集 ・・・・・・ 奥田　繁

齊藤 潤一（さいとう・じゅんいち）監督 プロフィール

1967年生まれ。関西大学社会学部卒業、1992年東海テレビ入社。営業部を経て報道部記者。愛知県警キャップなどを経てニュースデスク、現在ニュース編集長。2005年よりドキュメンタリー制作。これまでの発表作品は「重い扉～名張毒ぶどう酒事件の45年～」（2006・ギャラクシー優秀賞）、「裁判長のお弁当」（2008・ギャラクシー大賞）、「黒と白～自白・名張毒ぶどう酒事件の闇～」（2008・日本民間放送連盟賞優秀賞）、「光と影～光市母子殺害事件　弁護団の300日～」（2008・日本民間放送連盟賞最優秀賞）、「検事のふろしき」（2009・ギャラクシー奨励賞）、「罪と罰～娘を奪われた母　弟を失った兄　息子を殺された父～」（2010・ギャラクシー奨励賞）、「毒とひまわり～名張毒ぶどう酒事件の半世紀～」（2010・ギャラクシー奨励賞）。劇場公開作品として『平成ジレンマ』（2011・モントリオール国際映画祭出品）、『死刑弁護人』（2012・日本民間放送連盟賞最優秀賞）がある。（公式ホームページより）

阿武野　勝彦（あぶの・かつひこ）さん プロフィール

1959年生まれ。静岡県伊東市生まれ。
同志社大学文学部新聞学専攻卒業、1981年東海テレビ入社。
アナウンサーを経てドキュメンタリー制作。
主なディレクター作品に「村と戦争」(1995・放送文化基金賞優秀賞)、「約束～日本一のダムが奪うもの～」(2007・地方の時代映像祭グランプリ)など。
プロデュース作品に「とうちゃんはエジソン」(2003・ギャラクシー大賞)、「裁判長のお弁当」(2007・同大賞)、「光と影～光市母子殺害事件 弁護団の300日～」(2008・日本民間放送連盟賞最優秀賞)など。
劇場公開作は『平成ジレンマ』(2010)、『死刑弁護人』(2012)、『約束 名張毒ぶどう酒事件 死刑囚の生涯』(2012)、『ホームレス理事長 退学球児再生計画』(2013)、『神宮希林』(2014)、『ヤクザと憲法』(2015)、『人生フルーツ』(2016)、『眠る村』(2018)、『さよならテレビ』(2019)、『おかえり ただいま』(2020)でプロデューサー、『青空どろぼう』(2010)、『長良川ド根性』(2012)で共同監督を務める。
個人賞として、日本記者クラブ賞 (2009)、芸術選奨文部科学大臣賞 (2012)、放送文化基金賞 (2016)など多数の賞を受賞。
また、東海テレビドキュメンタリー劇場として、菊池寛賞 (2018)を受賞。
今月17日、「さよならテレビ」を平凡社新書より発刊。

横浜市地域文化サポート事業･ヨコハマアートサイト 2021

昨年に引き続き、今年も「ヨコハマアートサイト２０２１」に採択されました！！

〈採択事業内容〉　ロケ地で追悼上映会
・・・スクリーンで蘇るスターと横浜名所を回顧する・・・

『夢は夜ひらく』　渡哲也追悼！
ロケ地：ドリームランド・神奈川県立図書館・野毛山動物園など
『我が人生最悪の時』　宍戸錠追悼！
ロケ地：横浜日劇（映画館）など

横浜キネマ倶楽部のスタッフ募集中！！

横浜市民とともに16年。映画好きが集まったグループです。自分が観たい。又、他の人にもこんな良い作品を観て欲しいとできたのが当倶楽部。是非、仲間になってください。

＜確認事項＞
〇スタッフは、全員が無報酬の市民で構成されております。活動報酬などはありません。
〇スタッフの経験、未経験は問いません。映画好き、こんな企画がしたいなど提案ある方どうぞ！
〇例えば、もぎり(チケットの確認)1時間だけ手伝える方でも大歓迎です！

ご関心のある方はご連絡ください。→　yokohama_kinemaclub@yahoo.co.jp

次回第６４回上映会のお知らせ

『 夢は夜ひらく 』

２０２１年８月９日（月・祝）

上映時間　１３：５０ ～ （1回のみ上映）

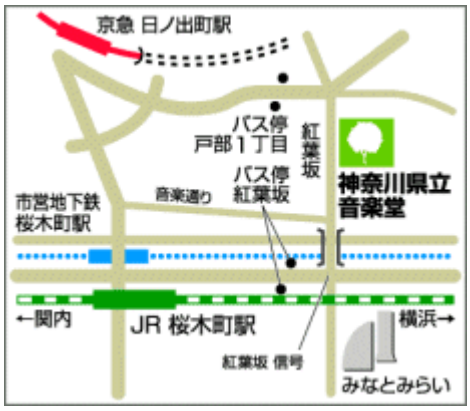
講演：１５：１５～ １６：００

講師　佐藤利明さん（娯楽映画研究家）

〔入場料〕

前売 1,000 円　　当日 1,300 円

障がい者 1,000 円　（介助者１名無料）



神奈川県立音楽堂 地図

〔会 場〕

神奈川県立音楽堂　０４５－２６３－２５６７

JR「桜木町」駅（南改札西口・北改札西口）から徒歩 10 分

横浜市営地下鉄「桜木町」駅（南１番出口）から徒歩 10 分

… 1967 年/日本映画/カラー/８１分/ブルーレイ上映 …

出演：渡哲也　園まり　高橋英樹　山本陽子　名古屋章　見明凡太朗
ザ・ドリフターズ（いかりや長介　加藤茶　仲本工事　荒井注　高木ブー）
布施明　奥村チヨ

監督：野口晴康

脚本：才賀明/中野顕影

音楽：宮川泰

横浜に映画ファンの思いが反映される映画館を作ろう！

横浜キネマ倶楽部は、横浜で永年親しまれてきた映画館の相次ぐ閉館を惜しむ映画ファンが集まり、２００５年５月発足し、「横浜に映画ファンの思いが反映される映画館をつくる」ことを目標に掲げて活動を続けています。会の存在をより多くの皆様に知っていただき、映画館をつくる目標に一歩でも近づけたい、それと同時に良質な映画を上映することで、映画ファンの交流の場を提供したい、という思いで年 4 回の上映会を行っています。

横浜キネマ倶楽部会報

発行：　横浜キネマ倶楽部

・・・横浜キネマ倶楽部　連絡先・・・

〒221-0835　横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2
かながわ県民活動サポートセンター　No.269
TEL：080－8118－8502（10時～18時）
Eメール：yokohama_kinemaclub@yahoo.co.jp
HPアドレス：https://ykc.jimdofree.com/